

新規分野を相次ぎ事業化

伸びを足える。

昭和興産インドネシア（矢尾智社長）では、消費財関連を中心とし、新ビジネスの育成が進んでいます。

若者を中心に入口が多くボテ
ンシャルの高い食品分野では、
日本品の食品添加剤をローカル

生材料や食品関連の原材料調達
ビジネスが間もなく立ち上がり
る。昨年、サンプル評価を受け

昨年からサンプル評価を受け

樹脂も、建材用途に今年から本格的に実績化した。業容拡大により新たな柱分野を構築して、持続的な事業成長を目指す。

われる。こうした汎用商材の取

界面活性剤が主力。インキや溶剤用 繊維樹脂の分散、乳化用
速で使われ 同事業の売上高の
十分弱を占めている。このほか、
エレクトロニクス関連部材や塗
料原料の取り扱いが多い。
年内から衛生材料向けのビジ
ネスが動き出す。特殊な樹脂フ
ィルムをべトナムから輸入し、
日本系衛材メーカーに供給する。
入口の多さを背景にした市場の

尾智社長



業容拡大でアカシに置く事
所が手狭になつたことから、
年1月に近隣の新興ビジネ
リアへ移転、拡張する予定。